

演題：治療中の咀嚼機能の維持に留意した咬合再構成の1症例

日時：2017年7月25日

発表者：添島義樹

keywords: 1.インプラント
2.咬合再構成
3.咀嚼機能の維持

歯科臨床におけるインプラント治療は、マテリアルの開発、術式の改良により長期的な成功を達成しうることから臨床応用されてきた。欠損に対して固定性補綴物で修復することにより強固な咬合支持の確立と、術後の患者の大きな満足が得られる。その一方で、多数歯欠損症例へのインプラント治療は、治療期間が長期化することは不可避であり、インプラント埋入後の治癒期間における術後疼痛や、粘膜の腫脹により患者の負担が大きくなる。こうした背景の中、術者は治療中の患者のQOLを著しく低下させない方策を考慮しつつ治療を進めていかねばならない。

今回の発表は、臼歯部の咬合支持を喪失したアイヒナー分類C1症例に対するインプラントを用いた咬合再構成において、治療期間の咀嚼障害を回避するための治療の進め方と、現在のインプラント治療の考え方について述べます。諸先生方のご意見、ご指導をよろしくお願いいたします。